

牝馬クロスは、基幹牝馬が成功して、いろいろな種牝馬との別々の多様なラインを通して子孫が繁栄しているうえに、それをクロスさせることになるから、古典的な配合論である“基幹繁殖牝馬論”のパターンを増幅できる。それに加えて、基幹種牝馬までクロスすることになるので、こういう Amerigo と Hornbeam などの配合では、決定的な爆発力を発揮することができる。

Nearco の単独のクロスよりも、Nearco、Hyperion、名牝 Point Duty の3つをセットで、しかもそのセットが歴史的検証・淘汰を経てそれぞれ生き残っている上で、クロスとなるほうが威力は大ではないか。

おまけに、この場合は、クロスしない部分が、名牝 Mumtaz Begum と、Bois Roussel、Precipitation なので、全体として、さらに、クロスしない部分の名血の淘汰されたパワーやニックス効果も含めて、かなり濃厚な遺伝力に期待することができる。

ここにおいても、クロスを考えるということは、同時にクロスしない部分を考えるということでもあるわけだ。

Amerigo × Hornbeam

Nearco	Pharos	Phalaris	Polymelus
		Scapa Flow	Bromus
Amerigo	Nogara	Havresac	Chaucer
		Catnip	Anchora
Sanlinea	Precipitation	Hurry On	Rabelais
		Double Life	Hors Concours
Sun Helmet	Hyperion	Marcovil	Spearmint
		Tout Suite	Sibola
Point Duty	Selene	Bachelor's Double	St.Joan
		Grand Parade	Gainsborough
Hyperion	Gainsborough	Pinprick	Selene
		Bayardo	Grand Parade
Hornbeam	Selene	Rosedrop	Pinprick
		Chaucer	Bay Ronald
Thicket	Nasrullah	Serenissima	Galiccia
		Mumtaz Begum	St.Frusquin
Thorn Wood	Bois Roussel	Nearco	Rosaline
		Vatout	St.Simon
Point Duty	Plucky Liege	Mumtaz Begum	Canterbury Pilgrim
		Grand Parade	Minoru
Pinprick	Mumtaz Mahal	Point Duty	Gondollette
		Pinprick	Pharos